

<研究構想図>

【大田区教育ビジョン（第4期大田区教育振興基本計画）】

<理念>笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます。

<基本方針1>持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します

<主な取組>

・区独自教科「おおたの未来づくり」

教育目標「心豊かで思いやりのある子
よく考えくふうする子 健康でたくましい子」

研究主題「共に学び互いに高め合う児童の育成」

【目指す児童像】

低学年	中学年	高学年	若竹学級
・地域との関わりを楽しむ児童 ・地域との関わりから自分の世界を広げ、自分の生活に活かす児童	・ICTを活用して様々な情報を得て、必要なものを取捨選択し、活用しようとする児童 ・問題の解決に向かって協働しながら、主体的に取り組もうとする児童	・自他の良さを生かしながら、協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする児童 ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする児童	・みんながよりよく生きていくための力を身に付けようとする児童

【こどもの実態】

- ・課題に対して、真面目に一生懸命に取り組む児童が多い。
- ・一方、課題に取り組みながら、さらに自ら発想を広げたり理解を深めたりするなど、主体的に課題に関わろうとする姿はあまり見られない。
- ・課題について思考を巡らせたことを、相手に伝える力や、表現力が弱い。

【教科の目標】

<第1・2学年生活科>具体的な体験や活動を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。

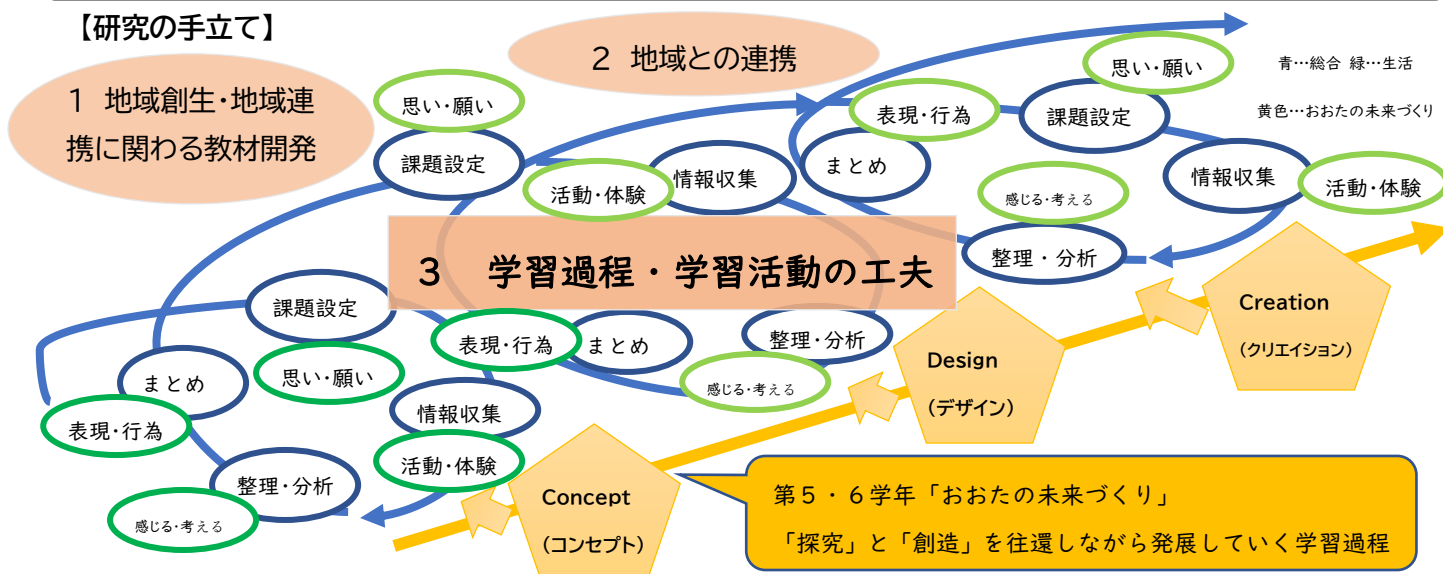
<第3・4学年総合的な学習の時間>・探究的な見方・考え方を働かせ、横断的、総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

<第5・6学年新教科「おおたの未来づくり」>

未来を創造するための見方・考え方を働かせ、実社会で活躍する人などと連携して、「探究」と「創造」を往還しながら発展していく学習過程において、よりよい未来をつくるための創造的な資質・能力を育成する。

<若竹学級：生活単元>児童が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することにより、自立や社会参加のために必要な事柄を実践的・総合的に学習する。

【研究の手立て】



【本年度の研究について】

・高学年の新教科「おおたの未来づくり」の目標である「未来を創造するための見方・考え方を働かせ、実社会で活躍する人などと連携して、「探究」と「創造」を往還しながら発展していく学習過程において、よりよい未来をつくるための創造的な資質・能力を育成する」を達成できるように、低学年から創造的な資質能力の素地を身に付けていく。